

授業中に困っている子供への支援のヒント

授業で困りそうな場面

学びやすい方法

「もしもシート」でチェック！！

【中学生・高校生用】

あったらいいな こんなやり方！

もしもシート

年 組 番 氏名 _____

このシートは、皆さんに合った学びやすい方法を先生たちと一緒に探していくためのものです。

皆さんは授業中に、「もしも、違うやり方があったらできたのに…。」とか「もしも、こんな方法があったらできそうかも…!」と思ったことはありませんか？

学びやすい方法は一人一人違って当たり前です。

まずは、皆さんがよかったらと思う学びやすい方法をこのシートに記入して、先生たちに教えてください。授業ですぐに取り入れることができるものもあれば、できないこともあるかもしれませんが、一人一人に合う学びやすい方法を一緒に考えていきたいと思っています。

学校でのいろいろな教科の授業を思い出しながら答えてください。

♪ 授業のときの様子を教えてください。

(ある・ない) ← どちらかに○を付けてください。

♪ 授業のとき、どんな方法があったら、もっと勉強しやすくなると思いますか？

あったらいいなと思う方法や、やってみたい方法があれば、教えてください。

表の左側の欄に、次の記号を書いてください。

◎…とてもそう思う、○…そう思う、△…少しそう思う
(いくつ書いてもOKです。)

令和8年 広島県立教育センター

活用 ガイド

小学生から
高校生まで
使える!!

「もしもシート」は、子供が授業中に感じている思いや願いを把握し、支援を考えていくためのツールです。

このシートを活用すると・・・

分かる!

- ☆子供が授業で困っていること
- ☆子供が、あったらいいなと思っている学びやすい方法
- ☆支援のヒント

どうやって使うの？

表紙

①確認する

「もしもシートとは何か？」を子供と一緒に確認します。

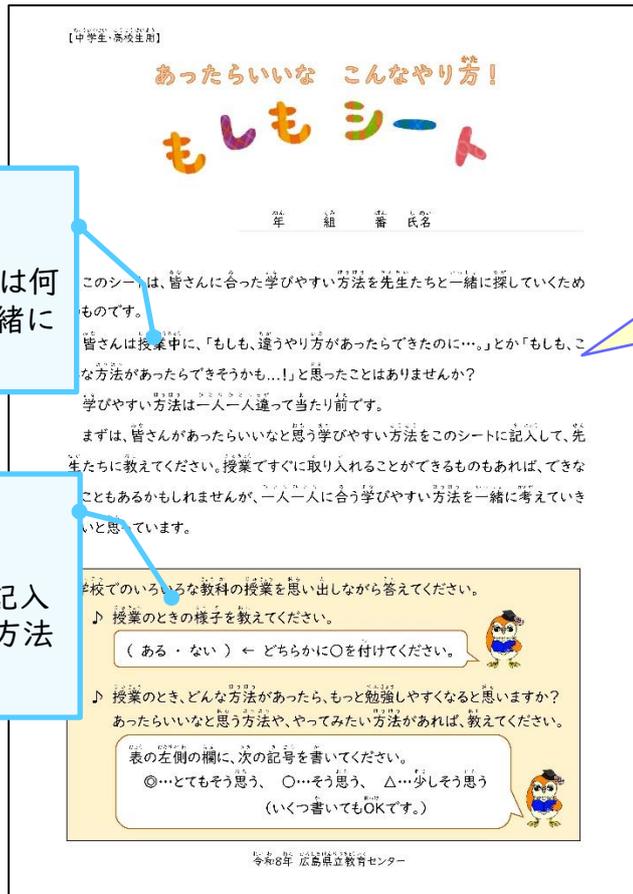
安心感をもって臨んでもらうための確認です。

②説明する

子供が自分で記入できるように記入方法を説明します。

実施は

一人に対して
クラス全員に対して
どちらでも OK!



中面

③子供の思いや願いを聞く

授業でよくある場面について、「こんな時はある？ない？」と聞きます。

「ある」と答えた子供には、やってみたい方法に、◎○△を付けてもらいます。

子供が授業のどんな場面で困っているか、どんな方法を試してみたいのかが分かります。

授業でよくある場面として

聞く 読む
考える
思い出す
話し合う 書く
発表する
覚える

を取り上げました。

実態に応じて項目は減らしたり、変えたりしてOK!

1. 話を聞いて、話の内容が分からないときがある。(ある・ない)	
①	「今から話します。」など話の前に各箇がほしい。
②	関係する言葉、キーワードや絵などのヒントがほしい。
③	話の内容を黒板に書いてほしい。
④	一度にたくさんではなく、少しずつ説明してほしい。
⑤	先生や周りの人に聞きたい。
⑥	今までどおりでよい。
2. 文章を読んで、内容が分からないときがある。(ある・ない)	
①	ふりがなを付けてほしい。
②	文章に關係する線や図がほしい。
③	話の順序やつながりを分かりやすく表してほしい。
④	キーワードに印を付けてほしい。
⑤	分かりやすい言葉に置き換えてほしい。
⑥	先生や周りの人が読んでいるのを聞いたり、読み上げ機能を使ったりしたい。
⑦	今までどおりでよい。
3. 考えが思いがけないときがある。(ある・ない)	
①	選択肢から自分の考えに近いものを選びたい。
②	考えることに關係するメモや写真などの資料がほしい。
③	考える順番をいくつか段階で示してほしい。
④	大まかにどんなことをするのか具体例が知りたい。
⑤	先生や周りの人と相談したい。
⑥	今までどおりでよい。
4. 前に学習したことを思い出せないときがある。(ある・ない)	
①	学習したことに關係する言葉、キーワード、絵や図が見たい。
②	黒板や教室内に、前に学習したことが分かるように示してほしい。
③	タブレット型パソコンなどで調べたい。
④	前に学習したことが教科書や資料のどこに載っているか示してほしい。
⑤	先生や周りの人に聞いたり、前を見たりしたい。
⑥	今までどおりでよい。

支援のプロセス	 教師の 思い・動き	 センター小学校 第4学年 せんたろうくん
<p>学習上の困難さに気付く</p> <p>もしもシート</p> <p>子供の 思いや願いを聞く</p>	<p>せんたろうくん、ノートに書くのに時間が掛かるな…。</p> <p>よし!「もしもシート」で、どんな方法が学びやすいのか聞いてみよう!</p>	<p>もしもシート記入</p> <p>文字や漢字を書くことが難しいときがある。(ある・ない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>使いやすい筆記具を使いたい。 <input checked="" type="checkbox"/>マス目の大きいものや罫線のある用紙がほしい。
<p>実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな困難さがあるのか ・どんな方法が学びやすいか 	<p>もしもトーク</p> <p>「もしもシート」見たよ。字を書くとき大変なんだね。</p> <p>はみ出さないように書こうとするとゆっくりになってしまうんだ。</p> <p>そうなんだね。じゃあ、プリントの枠を大きくしてみるね。</p>	
<p>必要な支援の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業でつまずきそうな場面はどこか ・どんな学びやすい方法が提供できるか 	<p>算数だと…グラフを作成するときにも難しいかな。</p> <p>じゃあ、グラフ作成はタブレット型パソコンでやってみよう!</p>	<p>授業で…</p>  
<p>支援の決定・提供</p>	<p>もしもトーク</p> <p>「もしもシート」で教えてくれた方法を授業でやってみたけど、どうだったかな?</p> <p>プリントの枠、大きかったから書きやすかった。</p> <p>グラフをタブレット型パソコンで作ったのも、やりやすかった!</p>	
<p>支援の効果を確認、見直し</p>	<p>他の教科でもタブレット型パソコンを使った支援をしてみよう!</p>	
<p>次の授業での支援に生かす</p>		

使ってみてどうだった？

適切な支援につながるように、学びやすい方法をお互いに見付けられている感じがする。

子供が「やってほしい」と表明した方法は既に取り入れていたことが多く、「間違っていたいなかった」と自信になった。

書き方が分からない漢字があってもパソコンならすぐに変換してくれるので勉強がはかどる。

いろいろな方法があることが分かった。

やる気がでた。



先生の声

もしもシートの項目が支援を考えるヒントになった。

子供が「学びやすい方法について言ってもいいんだ。」と思えることで主体的に学ぼうとする意識が芽生えた。

やりやすい方法を子供に自己選択させることで、学習への意欲につながった。

子供が前向きになっている気がする。



子供の声

選択肢やヒントが載せてあるワークシートを選べたことがよかった。

今までの宿題プリントをまとめたものや、基本の問題が載ったプリントなどを自分が選択してやる方法が学びやすかった。

問題の解き方を思い出せるように最初に確認する時間があったことがよかった。

※ 作成に当たっては、一部イラストに生成 AI で加工したものを使用しています。

編集後記

「通常の学級における学習上の困難さのある児童生徒への教育的支援の在り方 — 「もしもシート」の開発と活用を通して—」（令和6・7年度）

今回の研究では、先生が児童生徒に必要な教育的支援を提供するときの考え方を提案することを目的としています。広島県立教育センターでは、教育相談事業を行っています。教育相談に関わって学校と連携をとると、担任の先生方は支援の必要性に気付いているものの、「どんな支援をすることがいいのか？」「本当にこれでいいのか教えてほしい。」と実際に支援を行うことの難しさを感じていることが伺えました。また、文部科学省の調査結果からは、支援が必要な児童生徒に気がつきながらも、十分に配慮・支援が検討されていないケースが見られることが分かりました。つまり、担任の先生方が悩みながら一人で支援を考えているケースが多いのではないかと私たちは考えました。このことから、先生方の悩みに対して何か提案ができなかと研究を進めてきました。

最初に、文部科学省の資料において、合理的配慮について、本人からの「意思の表明があった場合」と示されていることを参考にしました。この「意思の表明」を出発点として支援について検討したときに、教師の考えた支援だけでなく、もっと「子供の声」つまり児童生徒の思いや願いを聞いて支援を考えてみようという考えに至りました。

そして、共同研究者の先生方に御協力いただき、子供の声を聞いて、教師が受け止め、支援につながるこの大切さに気付く、「支援のプロセス」をまとめました。その過程で開発したのが「もしもシート」です。

児童生徒の「やってみたい!」「これならできそう!」という学びやすい方法を基に支援を取り入れた授業づくりについて提案しました。ぜひ、活用ガイドを参考に、一人一人の学びやすい方法に応じた授業づくりにチャレンジしてみてください。

参考：

文部科学省（令和4年）：「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」

新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議（令和3年）：「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 報告」

<研究者>

広島県立教育センター 指導主事 金本 倫子 廣藤 香織 井上 歩美

<共同研究者>

令和6年度 広島県教育委員会 指導主事 平川 真衣 令和7年度 広島県教育委員会 指導主事 田村 沙織

令和6年度 東広島市立寺西小学校 教諭 沖野 舞 令和7年度 東広島市立入野小学校 教諭 阿部 恵大

大竹市立玖波中学校 教諭 永野 由美 尾道市立吉和中学校 教諭 赤瀬 彩子

広島県立賀茂北高等学校 教諭 向井 統基 広島県立賀茂北高等学校 教諭 向井 統基

広島県立安西高等学校 教諭 竹野 優子

<研究指導者>

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
西日本ランチ広島オフィス研究企画部 総括研究員 大崎 博史



教育センター
web ページ
特別支援教育の部屋

（発行元・本研究に関する問合せ先） 広島県立教育センター 特別支援教育・教育相談部 TEL (082) 428-1188